# 夢の新津川プロジェクト

～油川と呼ばれる新津川にサケが再び帰ってきますように～

新潟市立 新津第二小学校

## ①これまでの新津川と二小

30年以上続くサケの稚魚の放流

1994年から、サケの稚魚を放流し始めた。毎年2万匹の稚魚を放流し多い年には100匹を超えるサケが帰ってきた。

しかし!

しかし、2017年を最後に

2017年を最後に、新津川からサケは姿を消した。
そして、新津は石油の町であるため、今でも油が湧きだし生態系に影響をあたえている。

二小の子ども6人は「にこにこしている」「泳ぎやすい」などと感じている。

このように、ほとんどの人が今の新津川に対してマイナスなイメージをもっている。つまり、今の新津川はまさに油川なのです!

一方で、新津川の両岸には、遊歩道が整備されている。春には一部分的にスイセンが咲き、桜並木を楽しんだりして、散策を楽しんでいる地域住民もいる。

## ②立ち上がる二小「夢の新津川プロジェクト」

昔からずっと変わらない思いがある!

新津川をきれいにしてサケが帰ってきてほしい!

「夢の新津川プロジェクト」5年生による始動!!

新津川探検第一弾では、地域の方から新津川の歴史や魅力について教えていただいた!
その後、地域振興局の方を招いてさらに新津川の歴史を触れたことで、みんながさらに新津川に興味を持つことができた。

新潟薬科大学の大野先生から川の汚染とその浄化についてお話をいただいた。川をきれいにするにはお金と川が汚れる原因について学んだ。

探検第二弾では、新津川にどのような生物がいるのかを調べてみた。水質によってどんな生物がいるのかを調べてみた。

環境測量士の方からは、新津川の水質検査の仕方を教えていただいた。

自宅でも新津川の水質を調べてみた。新津川は、他の川と比べて汚いということが分かった。

そして5年生全員で5つのテーマに分かれて、新津川の水質改善に向けた取り組みを行った。

取組はレベル1～レベル3に分けている。
レベル1は「小学生のみで行う取組」
レベル2は「地域や家族と協働して行う取組」
レベル3は「行政や専門の方のお力をお借りしながら行う取組」

学校外＋行政の方など
学校外＋地域・家族
学校内 小学生だけ

自分たちで考えた

### 〈レベル1〉学校内で子どものみで行った取組

全校に向けて行った様々な取組により、新津川が油汚れのあることやきれいにするために小学生でもできることを知らせることができた。

パンフレットにサケのことをまとめている

ポスター、回覧板など

### 〈レベル2〉「地域と家族と協働して行った取組」

新津川クリーン大作戦

児童だけで行っていた新津川周辺の清掃活動を地域や家族にも参加を呼びかけ、実施した。

1時間の活動で20kg以上のゴミを回収した!
それと同時に継続することの大切さも学ぶことができた

全体のゴミ

20.25kgの重さのゴミが新津川で取れた!

### 〈レベル3〉「行政や専門の方のお力をお借りしながら行った活動」

「秋葉区長・新津整備部への発表・提案」

秋葉区長や行政をお招きして、1年間の取組を報告した。その後、新津川および新津川周辺の環境について協議も行った。

活動を広げることで地域の

ぜひ見てください!

願いになる!

2025年度 1年間の活動企画書および報告書

## ③もっと広がれ!私たちの「夢」

### おかえり*灯りぷろじぇくと

地域と共に!

10月末の大仏祭に合わせておこなわれる「おかえり灯りぷろじぇくと」は、新潟県都コミュニティ協議会にニュートピアの皆様にもなってイベントです。

内容は、児童・保護者・地域住民が一緒に作る竹灯籠を川沿いに飾ってくることによって、たくさんの方に新津川に来てもらうことで、地域に愛着をもってもらうなどを目的に行われるイベントです。

竹灯籠は、竹を切ったり、穴をあけたりなどの細かい作業が多いため、竹灯籠を作るのは、5年生が担当しました。

竹灯籠は、竹を切ったり、穴をあけたりなどの細かい作業が多いため、竹灯籠を作るのは、5年生が担当しました。

10月31日(木)

今年の成果を発表しました!!

学校
地域
保護者

今年度も10月31日(土)に8年目のおかえり灯りぷろじぇくとが行われる。

## 成果と課題

〈成果〉
①30年余りの長い期間サケの放流活動を続けてきたこと。
②サケが帰ってきてほしいという願いのもと、諦めずに環境保全活動を続けることができた。
③新津川だけでなく新津川を中心とした地域環境に関心を広げて深めることができた。
④新津川の水質を上げても今すぐにたまっていないこと。

〈課題〉
①継続していくために、後輩たちに活動の引き継ぎをしていくこと。
②新津川の水質を上げても今すぐにたまっていないこと。

## 次につなげる!継続的かつさらなる発展を!「新津未来プロジェクト」(6年生になってからは)

新津未来プロジェクト

新津川だけでなく、広く『新津川周辺の環境』へと見方を広げる。
また、「なぜ新津地域にすまにはなにができるか」という問いを立てた。
そして五つの分野に分かれて活動開始!

専門的なアドバイザーからの支援を受けながら活動を広げていく!
春に新津川の清掃活動を行う!
新津未来会議も行い地域の人からの意見を聞く

活動の流れ

AARサイクル

企画提案書の作成

行動

振り返り

## 〈二小の先輩方の取組まとめ〉

①2003年度新津川クリーンの取り組み
(第18回全国豊かな海づくり大会作文コンクール(小学校高学年の部)において全会会長賞)

②2018年度「清掃活動等」
公益財団法人・日本河川協会「河川功労者表彰」

③2019年度～おかえり灯りぷろじぇくと
新津東部コミュニティ協議会・新津東部ニュートピア・新津東部ニュートピアが協働し、開催
(今年で8年目の開催)

④2021年度
「児童が新潟県知事へ嘆願書を送る」
→「新津川の水位を上げる工事」
「橋本・河床掘削工事」
(村越)

2022年度頃～
「大雨による洪水で畑が流される。
→川の水量も激減・水は茶色く濁っている。
→新津川の水質改善およびサケの再遡上には新津川の水位を上げることが必要不可欠

「どうせサケなんか帰ってこない」諦めムード

Thank You!!